

**The Truth After 30 Years From the
Bhopal Disaster**
**ボパール化学工場事故から
30年後の真実**

アジャイ・パテル
サムバヴナ・トラスト・クリニック
(インド・ボパール)
2015年11月22日

Introduction はじめに

- ボパールでのユニオン・カーバイド社によるガス漏出事故の原因と影響
- 生存者の現在の状況
- 環境状況
- 政府、企業、司法が果たした役割
- ボパール化学工場事故の教訓

Union Carbide Corporations' Entry in Bhopal ユニオン・カーバイド社のボパールへの進出

- 1969年 殺虫剤の生産のためボパールに工場を設立
- 1973年 イソシアン酸メチル(MIC)生産プラント設立案が承認
- 1979年 MIC生産プラント設立



- 1980～1982年の事故と従業員の死亡

- 1981年12月25日 従業員1人死亡、2人重傷

- 1982年1月9日 プラントでの別の漏洩事故により25人の従業員が病院へ搬送

- 1982年の安全監査

- 61のハザード(危険要因)

- そのうち30は重大なハザード

- そのうち11は危険なMIC/ホスゲン・ユニットで確認

- 1984年12月2～3日の夜
- MICなどの有毒ガスが40トン漏出
- 被害者は50万人以上
- 事故後3日間で8,000人が死亡

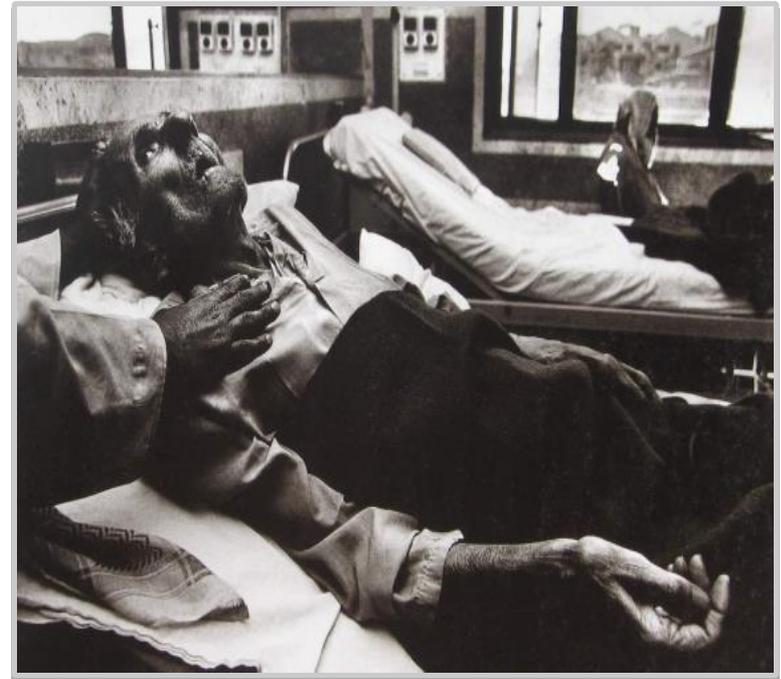


Causes of the Disaster 事故の原因

- ✦ 工場の設計上の危険性
- ✦ 危険な立地
- ✦ ずさんな運用・保守手順
- ✦ 人員削減
- ✦ 重要な安全装置の意図的な削減

Health Effects 健康への影響

- Survivor's believe
生存者の確信
- 呼吸器系
 - ぜんそく
 - 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)
 - 肺癌



Health Effects 健康への影響

- 眼の疾患
- 生殖器系の疾病
- 筋骨格系疾患
- 遺伝性疾患
- 免疫学的影響
- 心理的問題



30 years after the disaster

事故から30年後

- 死者数は2万5,000人で現在も増えている
- 慢性疾患
- 不適切な治療、治療プロトコルがない
- 次の世代の健康問題



Causes of death after 30 year

30年後の死因

✦結核

✦癌

✦腎疾患

✦肝疾患

✦慢性肺疾患

Environmental Disaster

環境災害

- 1969～1977年
廃棄物を穴に投棄
- 1977年 干上がった池
- 1982年 水質と土壌の
汚染が始まる



Environmental Disaster

環境災害

- 1989年
ユニオン・カーバイド社の
調査報告：魚類の致死100 %
- 1996年 有害なヘドロを隠す
- 科学的検査 1990～2013年
- 被害を受けた地域社会と住民



Effects on next generation

次世代への影響

◆先天的欠損症と発育障害

◆小眼球症

◆停留睪丸



Effects on next generation

次世代への影響

◆先天的欠損症と発育障害

◆尿道上裂

◆合指症



Effects on next generation

次世代への影響

✦ 先天的欠損症と発育障害

✦ 耳の奇形

✦ 脊柱後湾



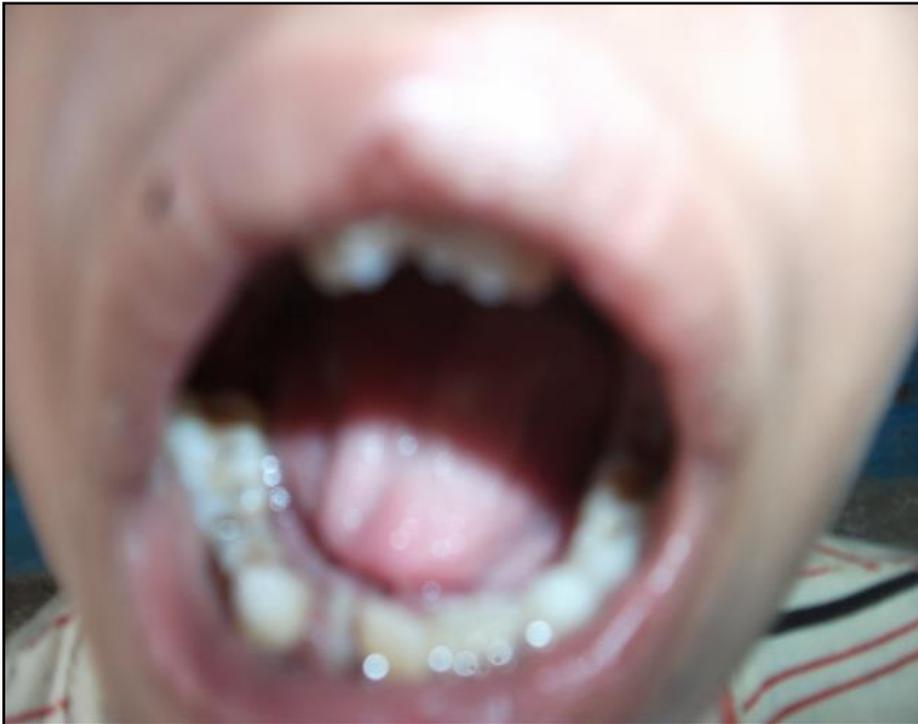
Effects on next generation

次世代への影響

✦ 先天的欠損症と発育障害

✦ 口蓋裂

✦ 無眼球体



Effects on next generation

次世代への影響

✦ 先天的欠損症と発育障害

✦ 斜視

✦ 前腕奇形



Effects on next generation

次世代への影響

✦皮膚疾患



Socio-Economic Impact

社会経済的影響

- 記録化の取り組みがない
- 就労できない
- 不十分な教育、低い雇用適性
- 固定収入の喪失
- 社会的追放(被爆者)



Legal Aspects 法的側面

- 民法での補償
- 米連邦裁判所という「不便な裁判地」
- ボパール地方裁判所による一時補償
- 最高裁での和解
- 住民の92%に500ドル

Legal Aspects 法的側面

- 刑法による処罰
- アンダーソン会長は自由人のまま死亡
- ユニオン・カーバイドUSA社、訴追逃れ
- ユニオン・カーバイド香港社、訴追逃れ
- ダウ・ケミカル社、裁判所からの再三の要請にもかかわらず、ボパール裁判所に出廷せず
- ユニオン・カーバイド・インディア社、7,500ドルの罰金
- ユニオン・カーバイド社の役員個々に対し、インド裁判所は1,500ドルの罰金と懲役2年の判決

Response of Union Carbide ユニオン・カーバイド社の対応

- 否認
- 従業員を非難
- 医療情報の隠蔽
- 効果的な治療法の利用を妨害
- 裁判所への出廷拒否
- ダウ・ケミカルとの合併
- ユニオン・カーバイド・香港の登録抹消

Role of the Indian Government

インド政府が果たした役割

- 健康と環境への被害を軽視
- 企業の訴追逃れと幹部の逃亡を手助け
- 生存者の救済と社会復帰を無視
- 進行中の環境汚染を無視
- ボパール化学工場事故から何の教訓も学んでいない

Role of the US Government

米国政府が果たした役割

- ボパールのMIC生産プラントに資金を提供
- ユニオン・カーバイド社会長の逃亡のためインド政府に圧力をかけた
- ユニオン・カーバイド社会長の引き渡しを拒否
- インド政府によるダウ・ケミカルのボパール裁判所への出廷要請を無視

Lessons of Bhopal Disaster

ボパール化学工場事故の教訓

- 国民は工場で貯蔵/生産/排出される化学物質に関して知り、行動する権利を持たねばならない
- 政府が企業から影響を受けるのを防がなければならない

Lessons of Bhopal Disaster

ボパール化学工場事故の教訓

- 多国籍企業による犯罪を裁く国際法廷の必要性
- 企業犯罪は懲罰的な方法で罰せられなければならない
- 予防原則の実施



ありがとうございます
ました

www.sambhavnabhopal.org

www.bhopal.org

sambhavnabhopal@gmail.com

0755-2730914